

## 「データ構造とアルゴリズム論」の補助員志望者へ

担当教員 森田 彦

補助員の仕事は、受講生が円滑に演習を進めることができるよう、その支援に当たってもらうことです。他人にもものを教えることは大変なことです、それだけにやり甲斐があります。過去の補助員も受講生指導を経験することで皆成長して行きました。皆にもぜひ、この機会にチャレンジして欲しいと思います。

### I. 補助員に求めること（確認事項）

補助員には次の点を求めています。応募をする人はこれらに同意したものとみなします。

- ① 予習をしっかりとやり、プリントの課題（応用課題を含む）は全てきちんと学習しておく。→予習がいい加減な学生は採用しません。ただし、不明な点があれば遠慮せず森田に質問して結構です。
- ② 遅刻・欠席をしない。→ 4年生で就職活動（研修等を含む）と講義時間が重なった場合は、「1. 面接日等を他の日程にずらすよう努力する。」「2. それが無理な場合はできる限り早く森田に連絡する。」という措置を必ずとるものとします。→この点がルーズな補助員は学期途中でも辞めてもらいます。
- ③ 受け身の姿勢ではなく、自分から積極的に受講生を指導する。
- ④ 他の補助員と協力して受講生の指導に当たる。→チームワークが大事なので協調性を求めます。
- ⑤ メールによる（講義に関する）連絡事項はきちんと確認し、（森田から）応答を求められた場合は迅速に対応する。→ 本科目では、「メールでのレスポンスが良いこと」を補助員採用の条件にしています。

### II. 補助員の役割

- ① 補助員には、出欠チェックおよび課題チェックを担当してもらいます。その要領は採用後に説明します。各補助員は約 10 名の受講生を担当することになります。
- ② 受講生からの質問に対して対応してもらいます。ただし、質問者が複数いる場合や、少し込み入った内容の質問の場合は、統括補助員（下の③参照）あるいは森田に対応を依頼して結構です。
- ③ 原則として毎週 13:00 までに講師準備室（C-204）に集合し、その週の打ち合わせを行います。補助員は必ず参加して、その週のポイントを確認してもらいます。

### III. その他

自分の理解を深めたい、あるいは指導する（教える）ことを通じてコミュニケーション能力を高めたい、など向上心のある学生を歓迎します。